

# The Sakato News

DEMOLITION SITE REPORT Vol.201401

Edited and Published by SAKATO CO.,LTD.

314, Chigusacho, Hanamigawa-ku, Chiba 262-0012 tel.043-286-5400 fax.043-286-4187 info@sakato.jp www.sakato.jp

## HYBRID COSMO 2000

ハイブリッド コスモ 2000

(20トンクラス用)

「小さなこだわりの積み重ねが

プロ意識向上の鍵！」



THE NEXT WILL BE THE BEST  
**SAKATO**

## 「小さなこだわりの積み重ねがプロ意識向上の鍵！」



施工業者名	太地建設株式会社様
所在地	千葉県成田市／総合解体業
代表者	代表取締役 徳永 太一郎 様
インタビュー	同上
弊社製品名	HYBRID COSMO 2000

当社は昭和54年に創業し、千葉県を拠点に首都圏の大型物件を中心に手掛ける総合解体業者です。「解体は次の創造への出発点である」との基本理念に基づき、環境対策には特に強い意識を持っております。また「建設機械の効率化を昇華し更なる技術革新を推進する」という理念を掲げ、最新鋭のショベルやアタッチメントを積極的に導入しております。

### 【協力会社様との信頼関係を築くために】

さて、皆様も御承知の通り昨今の解体業界を取り巻く環境は著しく変化しています。東京オリンピックの開催決定やアベノミクスによる景気回復等明るい話題も増えてきた一方で、元請様からのコストダウンや安全対策に対する要求、そしてガラ・ゴミ引受相場の高騰や人手不足等々、従来通りの方法や考え方だけでは利益確保が難しくなっていることは解体業界全体にとって重要な課題です。このような状況の中で、どのように御客様からの信頼を継続的に得るかを考えることは当然のことですが、更には協力会社様からの信頼も同様にいただいているかが非常に重要であると考えています。そのためには細かなことへの問題意識を持ち続け、それに対する努力を積み重ねるしかないと思っていますし、今回お話しするマグネット付小割機の検証もその一部です。

### 【限られた機械性能をどこに生かしていくか?】

弊社が請け負う物件は首都圏を中心とした大型現場が多いのでマグネット付の小割機は必須アイテムであり、このSAKATO製マグネット付小割機「COSMO2000」も7年前から使用していて今回が2台目の導入です。磁力の強さや機械の耐久性はこれまでの経験で十分わかっていましたし、特にRC現場での鉄筋回収率の高さには、導入当初から現場の全作業員から太鼓判が押される程の活躍ぶりです。ただ、右の表を見てもCOSMOのマグネット径は他社と比べても大差ないのに、なぜこんなに強力なのかと思われるかもしれません。

それは、巻いているコイルの量が圧倒的に違うからです。つまりマグネットの重量が違います。マグネットは吸着面の径の大きさだけでなく、どれだけのコイルが巻いてあるか、そこにどれだけの電流を送るかが単純に能力の差になるわけです。専用の発電ユニットを搭載するのもそのためです。欲を言えば全ての小割機をこのCOSMO仕様に入れ替えられることが理想ですが、当然費用があつての話です。そう簡単ではありません。実際には、レンタルやオペリースによって、バッテリー式マグネット等も現場に補充しながら複数の現場をこなしているのです。



(RC現場でのマグネット使用状況)

ですからこの限られたCOSMOのメリットをどう活用するかが重要になってくる訳ですが、従来はやはりRCやSRCなどの鉄筋含有が多い現場での使用が中心となっていました。鉄筋が多ければ、強力磁石の活躍も大きくなるわけですから当然のことですし、これだけでもCOSMOの導入効果は十分に得られるという認識でした。

メーカー	SAKATO製	他メーカー(一般的な性能)
電源種類	発電機	バッテリー
鉄筋吸着質量(kg)	250	130
マグネット径(mm)	850×700	700
マグネット質量(kg)	750	265

### 【S造解体でのコスモ活用のメリットを再認識】

しかし、今回我々が目を付けたのはS造解体でのメリットです。この現場は旧工業団地で、5棟全てがS造でした。S造現場でのマグネットの利点というと、スクラップの回収や積み込みがまず思い浮かびますが、この類の作業は決してCOSMOの強力な磁力でなければできないものではありません。スクラップ自体はサイズも大きいですから小割部分で掴むことができますし、その他の鉄屑も比較的面積が大きいのでバッテリー式マグネットでもある程度吸着できます。何故なら対象物の面積が大きいということは、磁力を受ける面積が大きいということですから、吸着し易いのです。問題は、「小さい鉄屑」です。S造解体に於いてはスラブの中に入っている細くて小さな鉄筋、機械設備を取り壊した際の細かな鉄屑等です。これらはガラと混在すると埋もれやすく、目につきづらくなってしまいますし、また面積が小さいため磁力も受けづらいため回収率が低くなってしまいます。小さな鉄屑ですからスクラップ売却益の視点から考えれば、時間をかけ過ぎれば割に合わない作業になりますし、だからと言ってそれを適当に処理してしまうことは決してプロの仕事ではありません。そこで手助けしてくれるのがこのCOSMOの強力な磁力です。

COSMOのマグネットは鉄筋吸着力250kgと圧倒的な磁力であるため、対象物の面積が小さくても難なく吸着します。ガラが付いている鉄筋やガラの下に埋もれた鉄筋でも吸い付くので、回収率の高い綺麗なガラを作ることができます。周知の通りガラの相場はここ2、3年で倍以上となっています。せっかく利益の取れる解体現場を受注できてもガラ処分費が重荷となり、思った通りの利益がなかなかだせませんし、鉄筋の混ざった粗悪なガラは受入単価のアップやガラの返品となり、更なるコストアップ要因となります。さらに言えば、綺麗なガラを出す



(スラブ内から回収した細かい鉄筋の状況)

ことはこうした自社にとってのデメリットが解消されるだけではありません。処理業者様にとってはコンベアーのベルト破損がなくなるため、大変喜ばれますのでその継続性が良好な信頼関係に繋がります。このご時勢安定したガラの受入先は大変貴重ですし、何か困った時にも助けていただけます。つまりは、こうした小さな鉄筋こそ綺麗に分別することが細かなこだわりの一つであり、それらの積み重ねが我々のプロ意識を支えているのです。御客様のみならず、協力会社様の為にもできることを追求していくことは、自社にとっても有益なことだと認識しています。

### 【中小企業ならではのカスタム相談】

最後になりますが、今回のCOSMOは強化仕様になっています。2台目を発注する際、サカトから1台目のCOSMOの使用状況のヒヤリングを受け、2台目は強化仕様にしてはどうかと提案がありました。具体的には殆ど鉄筋切断の作業が無かった小割のカッターをなくすことで本体根元のR形状を大きくとることでできました。ここでは小割機が最も疲労する箇所ですが、これにより同部の耐久性を2割アップさせました。また破砕面のベースとなる板も上下共に通常よりも厚くしています。更にもともとカッターのあった箇所にリヤツースを1つ追加することで碎石効率の向上を図りました。こうした細かなこだわりは仕事と同様に、機械に対しても持ち続けたいですね。このようにサカトは使用状況に応じて細かなところを提案してくれるので頼もしいです。普通、メーカーであれば既製品以外を作ることは嫌がるはずですが、中小企業ならではの細かな対応と提案のメリットを感じました。これからも同じ地元千葉県の発展のためにも、互いに協力していきたいと思えます。



(破砕面の改造内容)

文：谷本 篤彦